

JAICOH NEWS LETTER

NO : 81 2019 年 7 月 発行



歯科保健医療国際協力協議会

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1 日本大学松戸歯学部 生化学・分子生物学講座内

URL : <http://jaicoh.org/> Email : info@jaicoh.org Tel : 047-360-9328

郵便振込 : 00140-9-599601 歯科保健医療国際協力協議会

発行 : 宮田隆 編集 : 竹内麗理

2019 年 春期 研修会

講 師 : 岡村 隆

(NPO「南アジア遺跡探検調査会」理事長)

テーマ : 「海外でこそ無事是名医・

探検家 岡村隆 のサバイバル術」

日 時 : 2019 年 3 月 31 日 (日曜日) 14:00-16:00

会 場 : ワイム貸会議室 お茶の水

プレ講演 : 「途上国での感染症予防」]

宮田 隆 (JAICOH 会長) 14:00-14:30



JAICOH 春期研修会：岡村隆先生の講演会に参加して

東北大学 国際歯科保健学分野 大学院 木内 桜

“海外でこそ無事是名医”というタイトルに惹かれ、平成 31 年 3 月 31 日に JAICOH 春期研修会として御茶ノ水で行われた探検家の岡村隆先生の講演会に参加しました。岡村先生はモルディブやスリランカの遺跡調査などをフィールドに長年活躍されてきたことで 2018 年の植村直己冒険賞を受賞された探検家であり、今回の講演会では特に海外でどのように安全に活動を行うかという点を主にお話していただきました。



今回の講演会で特に印象に残っていることは二つあります。一つ目は事前準備の重要性です。海外では時には想定外のことが起こりますが、想定外のことに對しても事前に情報収集を行い、準備していくことで対応力が上がるという点を、実例をもって話していただきました。岡村先生が遺跡調査などを行う前に作成されるマニュアルはとても事細かに起こりうる危険とその対策などが書かれているそうです。二つ目は目的を達成するための意思の強さです。岡村先生が以前は鎖国状態のようだったモルディブに民間人として入ることができたのは押しの強さ（！）が成功の秘訣ということでした。何回も何回も 3 か月間大使館に通いつめたことでモルディブでの活動をできるようになり、多くの功績を残されたそうです。やりたいことがあればあきらめずに熱意を伝えることで可能になることもあるのだと驚きました。



今回の講演会で学んだことは、自分が将来海外で歯科医療活動を行うチャンスがあればもちろん生かしていきたいですが、明日からの生活にもぜひ生かしていきたいと思います。特に学ぶ姿勢や目的達成のための強い意欲を持つことは、バイタリティあふれる岡村先生の姿から強く感銘を受けました。今回貴重なお話をして下さいました岡村先生、会長の宮田先生、運営に携わっている先生方に参加の機会を頂きまして感謝致します。ありがとうございました。



活動報告

2019年冬のモンゴル歯科活動報告（2019年3月6日～13日）

今年のモンゴルは、例年に比べ雪が少なく気温も温かいようです。私達が行った3月初旬も日中は+5-6度で、夜でも-9度ほどでした。雪が少ない（モンゴルでは冬には雨は降らない）と草原の草が育たないため家畜にはエサが不足する、と心配されています。世界的に異常気象のようです。

ウランバートルの車の渋滞は、ますますひどくなっており、街中を走る車の殆どは日本車のトヨタでした。夜になってもネオンが輝き、車や人出が多く、おしゃれなビルが増え、発展(?)が伺えます。

今回も、サラさんがすべての活動準備をしてくれ、トヤさんがスケジュールの交渉と調整をしてくれました。

参加者；日本から：黒田、榎本、山田、オトゴントヤ

モンゴル：エネレルスタッフ（サラントヤ、歯科医師2名）

医科大学（デジゲルツェツェグ講師、研修生）

日 程；

3/6（水）；09:30 関空出発 — インチョン — ウランバートル着（KE5867）16:05

3/7（木）；午前：幼稚園での歯科活動

午後：小学校での歯科活動

夕方 19:00～ エネレルスタッフへのセミナー

・小児歯科衛生士の役割（DH 榎本）

・矯正歯科衛生士の役割（DH 山田）

3/8（金）；午前：障がい者施設「シャルハット」での活動

午後：エネレルで「在宅障がい者親の会」対象の歯科治療

（医科大学の先生と研修生も）

夕方：市内観光とショッピング

3/9（土）；午前：郊外テレルジで観光、昼食

午後：ショッピング（衛生士2人）

夕方：セミナー（医科大学の研修生、24時間歯科医院スタッフ対象）

3/10（日）；榎本と山田は帰国 07:40 発（KE5868）— インチョン — 関空着 17:00

黒田は、昼食はアルハンガイ県保健局長ガンディマさんと

夕食は「在宅障がい者親の会」会長セレンゲさんと

3/11（月）；エネレルで診療指導、「在宅親の会」障がい児2名の治療も

エネレルスタッフへのセミナー「小児歯科診療」（黒田）

3/12（火）；11:00～17:00 医科大学でセミナー「小児歯科概論、診療システム」

3/13（水）；黒田帰国 07:40 発（KE5862）— インチョン — 関空着 17:00



日本人参加者とイチン先生

活動内容；

ウランバートル市内第210幼稚園で歯科予防活動（3年目6回目）；

この幼稚園での活動は3年目で、今回が最終回になります。3才から診てきた子ども達は、5才になって6月には卒園します。まとめの活動として、最初に子ども達が「虫歯予防の歌」を歌ってくれ、その後46人の保護者対象に虫歯予防講話と歯磨き指導を行いました。保護者には、新しく印刷した「虫歯予防パンフレット」をプレゼントしました。子ども達への活動は、検診、歯磨き、フッ素塗布、人形劇を行いました。

子ども達の歌：「可愛い手で歯ブラシをもって、ふわふわの雪のような歯磨き粉を載せて、歯ブラシを口の中に入れて、右・左と何回かよく動かして、右・左・上・下毎日朝・夜小さい歯を磨いてね。もし歯を磨かなかつたら、虫歯はあなたを苦しめるよ、健康で白い歯であれば幸せいっぱいです、右・左・上・下、毎日朝・夜小さい歯を磨いてね。」

検診結果)

	Caries free	う蝕罹患者数 (率) (C2以上)	C2数	C3数	C4数	う蝕喪失歯 充填歯	1人平均 う蝕歯数
2016年9月 3才, 58人	15人	43人 (74.2%)	236本	0本	1本	9本	5.7本 (43人)
2017年9月 4才, 68人	7人	61人 (89.7%)	409本	12本	11本	1本	7.1本 (61人)
2019年3月 6才, 46人	3人	43人 (93.5%)	287本	29本	23本	5本 36本	8.8本 (43人)



幼稚園で、子ども達からの虫歯予防の歌、保護者教室、人形劇、検診、歯磨き・フッ素塗布、虫歯予防パンフレット（生協なでしこ歯科母親教室用パンフのモンゴル語版）

ウランバートル市内第79小学校で歯科予防活動（3年目5回目）：

この小学校でも、今回が最後の活動になりました。前回夏の活動が先生達のストのため中止になり、今回も3月8日が「女性の日」で祝日のため、学校は2時までとのことでしたが、粘り強い交渉の末最後の活動を行うことができました。最初に、体験学習「炭酸飲料中の砂糖の量を知る」を行い、その後検診、歯磨き、フッ素塗布を行いました。これからは、一人一人が虫歯予防を頑張ってくれるように約束しました。

検診結果)

	Caries free	う蝕罹患者数 (率) (C2 以上)	C2 数	C3 数	C4 数	う蝕喪失歯 充填歯	1人平均 う蝕歯数
2016年9月 6才, 30人	2人	28人 (93.4人)	104本	22本	28本	6本 17本	5.9本 (28/人)
2017年9月 7才, 29人	2人	27人 (93.1%)	111本	22本	28本	6本 9本	6.5本 (27人)
2019年3月 9才, 25人	2人	23人 (92.0%)	105本	29本	21本	7本 8本	7.4本 (23人)



小学校で、実験「炭酸飲料中の砂糖の量」、検診、歯磨き・フッ素塗布

エネレルスタッフへのセミナー その1；

今回は日本の歯科衛生士2名から、「小児歯科衛生士の役割と母親教室」(DH 榎本)、「矯正と成人歯科衛生士の役割」(DH 山田)を18名対象にセミナーを行いました。診療後の19時から22時まで、みんな熱心に聞いていました。



障がい者施設「シャルハット」での活動；

2002年から行っている施設での歯科活動です。歯科治療、歯磨き、予防処置を13人に行いました。この地区の歯科医院からも2名の歯科医師が参加しました。治療は3人で、その他は歯石除去、歯磨き、フッ素塗布で済みました。今回は、常勤歯科医師が産休・育休で休暇中のため、歯磨きや歯石除去は殆ど出来ていませんでした。子ども達は、かなり慣れてきており、歯磨きではとても上手です。



エネレルで「在宅障がい者親の会」対象の歯科治療；

2016年2月からの活動で、今回で7回目になります。今回は、国立医科大学が活動日の土曜日が停電になるため、エネレル歯科で歯科治療を行いました。医科大学からもデギー先生と研修生3人が参加しました。当初の予定日が急に変更になり、しかも祭日であったにもかかわらず、3月8日金曜日に13人、11日月曜日に2人を診療して、そのうち治療をしないで予防処置で済んだのが4人でした。2016年の当初から16人の同じ人達を診ていますが、昨年9月から連絡の取れない1人を除いて15人が来られました。



医科大学研修生とエネレル歯科医師達の研修も兼ねて



「親の会」よりもらった2018年度一番貢献した医師への表彰状

セミナー（医科大学の研修生、24時間歯科医院スタッフ対象）；

医科大学で土曜日に「在宅障がい者親の会」の治療を行った後行っている大学研修生対象のセミナーを、今回は「24時間診療の歯科医院」を借りて行いました。歯科医院のスタッフと合わせて約18人ぐらいでした。この私立歯科医院は、2軒あり、総スタッフ数70人で、24時間診療しているそうです。夜間は4、5人の患者数ですが、困っている人達のために経営を度外視して開いているそうです。



感謝の似顔絵をもらいました

エネレルスタッフへのセミナー その2 「小児歯科診療」(黒田) ;

エネレルは毎年新しい歯科医師が多く入っており、また若い女性が多いため、産休・育児休が今年も6人いました。毎回繰り返しの内容も多くなりますが、実際の診療を見ながら気づいたことや、質問に答えました。



医科大学でセミナー 「小児歯科概論、診療システム」;

医科大学で卒後研修として、約76人の先生を対象に「小児歯科概論、小児歯科診療システム」について、約6時間のセミナーを行いました。今後、小児歯科診療、治療の実際、障がい児歯科治療、地域での予防活動などをシリーズで行っていく予定です。四分の一ほどの先生が何回か参加してくれており、西方2000kmほど離れたホブド県から来ていた先生もおられました。しかし、大半は若い先生達で、会場が狭く60人定員でしたが満席で、皆さん熱心に聞いておられ、質問も沢山出ました。

モンゴルは、1991年に初めて訪れた時には国立医科大学1校で、歯学部生は1年に25人程でしたが、3年ほど前に私立医科大学が3校出来て、今は国立1校、私立4校になっています。3年後には、約750人ほどの学生が卒業してくるそうです。しかし、私立の医科大学には、教える先生や実習用器材が著しく不足しています。国立医科大学歯学部付属病院でも、36台ほどある診療台の内ちゃんと動くのが5、6台とのことなので、推して知るべしです。学生教育・実習、卒後研修等、課題が山積しています。またいまだに、歯科機器・材料、歯ブラシ等口腔ケアグッズも、エネレルでの歯ブラシ製造を除いて、すべて海外からの輸入です。良い物は高価なこともあり、中国製品が多く使われています。

通訳は医科大学小児歯科教授オユンツェツェグ先生。



郊外テレルジで観光、昼食；

土曜日には郊外へ車で出かけ、国立公園テレルジの観光と昼食をとりました。テレルジは、初めて行った 1992 年と比べて、ホテルや旅行者用ゲルキャンプが多く建っており、観光地化しています。

自然の美しさがだんだん失われていくのはとても残念です。今回昼食をとったリゾートホテルも、日本やヨーロッパの一流ホテル並みの外観と内装でした。食事メニューも、洋食は日本とほぼ同じで、モンゴル料理も選べます。西欧人も利用していますが、今はモンゴル人も沢山利用しています。



テレルジの「亀石」周辺で、馬やラクダに乗ったり、鷺と一緒に写真を撮れます

2018 年夏のモンゴル歯科活動報告（2018 年 8 月 27 日～9 月 13 日）

今夏もアルハンガイ県のエルデンマンダル村で 2 年目歯科医師 Battsetseg の診療指導と幼稚園での歯科予防活動を行うため 1 週間早く出発しました。昨年の同県タリアット村での活動によって、Purevdulam 先生はこの 1 年間に乳歯冠を 4 本、村の子ども達約 800 人の歯科検診、先生や保護者達への予防講話を行ったそうです。村では、休診日でも夜間でも急患が自宅にまで訪ねてくるそうで、本当に大変だそうです。期待以上の頑張りに、あらためて活動の意義を感じました。

ウランバートルではいつもの活動を行いましたが、小学校の先生達が給与を上げてもらうためのストライキを行い新学期から 2 週間ほど休講になったため、予定の活動を行えませんでした。来春 3 月に 3 年目最後の活動となるので次は予定通り行えることを願っています。

今回は、台風の影響で関空が閉鎖になり、北京で 1 泊してまる 2 日かけて中部国際空港に帰国することになりました。無事に帰れたのでよかったですが大変でした。

日程；

- 8/27(月)；関空出発、モンゴルへ（ウランバートル到着 17:30 CA955）
- 8/28(火)；現地で準備
- 8/29(水)；アルハンガイ県へ車で行く
- 8/30(木)；エルデンマンダル村で治療（保健局と赴任歯科医師と協力）
- 8/31(金)；エルデンマンダルで治療
- 9/01(土)；エルデンマンダルで治療
- 9/02(日)；エルデンマンダルで治療
- 9/03(月)；幼稚園での活動、午後からツェツェルレグへ
- 9/04(火)；ウランバートルへ
- 9/05(水)；休み
- 9/06(木)；ウランバートル市内で幼稚園活動（検診、人形劇、歯磨き、フッ素塗布）
午後には近隣幼稚園の先生達を対象に虫歯予防講話と人形劇媒体づくり
エネレルで診療とセミナー
- 9/07(金)；エネレルで診療とセミナー
- 9/08(土)；「在宅障がい者親の会」治療（医科大学で）
エネレルスタッフ全員と食事会（シャングリラホテルで）
- 9/09(日)；休み
- 9/10(月)；HC 施設「シャルハット」で訪問治療と口腔ケア
（小学校はストのため活動が中止）
エネレルでセミナー
- 9/11(火)；エネレルでの治療とセミナー
- 9/12(水)；日本へ出発（ウランバートル発 11:50 CA902）、北京で1泊
- 9/13(木)；北京から名古屋中部国際空港へ帰国

活動内容；

エルデンマンダル村での活動；

エルデンマンダル村では、2年目の Battsetseg 先生とツェツェルレグ市で開業している Enkhtuul 先生と一緒に延べ72人の子ども（1歳4か月～15歳）に、158本を治療しました。

ウランバートルの医科大学では、これまでにラバーダムや乳歯冠の講義と実習を行いました。しかし、ラバーダムや乳歯冠を患者さんの治療時に指導しながら行って、歯科材料やラバーダムセットなどをプレゼントしてきました。アシストをしてくれる看護師が協力的で、診療補助の研修も受け、幼稚園での予防活動にも積極的に参加してくれました。この村でも、治療内容の向上や予防活動が定着してくれることを願っています。

県の中心の町ツェツェルレグの公立病院小児歯科の先生や、医科大学の研修生もはるばると車でやってきて、参加してくれました。



幼稚園では、子ども達の歯科検診、歯磨き、フッ素塗布、人形劇を、80人を超える保護者達へは虫歯予防講話と歯磨き指導を行い、虫歯予防パンフレットを渡しました。

検診結果は、

- 2才児 16人、虫歯なし8人、dmf 歯数計 38本、
- 3才児 31人、虫歯なし7人、dmf 歯数計 109本
- 4才児 38人、虫歯なし6人、dmf 歯数計 202本

子ども達の虫歯は、昨年のタリアット村よりは少なかったのですが、3年前に行ったとき売店(スーパー)が2つだったのが16店に増えており、確実に増加しています。



ウランバートルの幼稚園での活動：

今年3月に行った予防処置（シーラント）がしっかり虫歯予防効果が確認できましたが、予防できている子はいても、やはり虫歯が進行をする子は増加していました。子ども達には、歯科検診、歯磨き、フッ素塗布、人形劇を行い、午後からは、近隣の3幼稚園の先生達を対象に予防講話と人形劇の媒体づくりをしました。トヤさんが作ってくれた3月の活動報告書も渡してきました。

検診対象5歳児55人、虫歯なし3人、dmf 歯数一人平均9.0本（C2以上）



「在宅障がい児親の会」の歯科治療；

医科大学小児歯科を借りて、デジゲルツェツェグ先生と研修生たちと一緒に障がい児 14 人（内 4 人はこの 4 年間の間に治療が終了して歯磨きとフッ素だけ）、合計 22 本の治療を行いました。

土曜日の大学は休みだったのですが、診療室を開けてもらい、大学小児歯科の研修生の見学を受け入れ指導も行いました。午後からは研修生への実技指導も行いました。根管治療を行った 3 人の障がい児の治療継続を大学にお願いしました。



障がい者施設シャルハットでの歯科治療；

13 人の入所者に歯科治療と歯磨き指導を行いました。歯科治療したのは 5 人で 8 本、8 人には除石、歯磨きとフッ素塗布だけでした。今回も施設の歯科医師と一緒に治療を行い、根管治療をした歯の継続治療や歯磨き・歯石除去等をお願いしました。



エネレルでの診療指導とセミナー；

実際に患者さんの治療を手伝い、実演しました。また、今年6人の新人歯科医師を採用した（産休・育休が今年も4人。退職者が3人）ので、4日に渡って小児歯科治療のセミナーと実習を行いました。



エネレルでは、来年度には1年間の歯科アシスタントコースを開校する準備をしています。うまくいけば来年3月までには許可をもらえるように進めています。

エネレルの新ビル地下にレストランが出来ました。職員や患者さん、近隣住民も食事に来ています。外部委託ですが、職員は格安料金です。

モンゴル政府は、今年から5年間の期限付きで、子ども達の歯科治療費の一部を補助するという通達をしました。しかし、数年前にはサホライド塗布代を政府が支払うとしたにもかかわらず、結局歯科医師に支払いは行われませんでした。今回も来年総選挙があるので、選挙対策で結局、金は出さないのではないか、との声もあります。また、予防のための予算ではなく、治療のみというところに反対する歯科医師も多いようです。いずれにしろ増え続ける小児の虫歯の現状からは、治療費の無料化は効果が期待できません。

郊外のチンギスハーン像近くでジャイロコプターに機乗しました。



事務局より

会費納入をお願いします！

ニュースレター・NGOダイレクターによる国際歯科保健医療協力に関わる情報提供など、本会の事業は皆様から納入いただく会費によって運営されています。つきましては、会費納入にご協力賜りたくお願い申し上げます。

年会費は、正会員：5,000円／年、賛助会員：一口10,000円／年、学生会員：無料（登録制）です。JAICOHの年度は4月1日から3月31日です。

会費納入先（郵便振替） 口座；00140-9-599601

名称；歯科保健医療国際協力協議会

他金融機関からの振込用口座番号

〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座；0599601

メーリングリスト（JAICOH-ML）に登録・投稿してください！！

JAICOHでは、歯科保健分野における国際協力や地域保健に関するメーリングリスト（JAICOH-ML）を運用しています。JAICOH 会員の方はもちろん、JAICOH 会員ではなくても、登録することができます。情報交換や、各種研修会等のお知らせにも使用しておりますので、各団体の活動報告や参加メンバー募集、学生向けのスタディーツアーへの募集のお知らせなどに、ぜひご利用ください。

なお、このMLには、JAICOH 会員に限らず、歯科保健分野における国際協力、国際保健、地域保健に関心のある方は誰でも無料で登録が可能です。歯科医師や歯科衛生士だけではなく、他の医療職、医療と直接関係ない方や学生もOKです。

ML登録をご希望の方や問い合わせは、1. 氏名、2. 所属、3. メールアドレスを、JAICOH事務局 ML 担当・門井謙典（jaicoh-admin@umin.ac.jp）まで送信ください。数日で手続きいたします。よろしく願いいたします。

3月31日（日）、2018年度最後の日にJAICOH研修会が開催されました。講師は日本を代表する、2018年度植村直己冒険賞受賞者、岡村隆氏、「海外でこそ無事は名医・探検家 岡村隆のサバイバル術」のテーマで、多くの経験談とともに話しいただきました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。また、お集まりくださった皆様にも、ありがとうございました。

また本号では、モンゴル歯科活動の2回の報告が掲載されています。たくさんさんの写真があり、活動内容だけでなく、モンゴル国の様子も分かります。是非ともご一読ください。

運営方針へのご意見がありましたらお寄せください。よろしく願いいたします（竹内）。